

小規模修繕から大規模改装・新築まで 高い施工力と迅速な対応力で取り組む

(株) K GRIT (ケイグリット／旧：(株)カナガワファニチュア)

(株)K GRIT
代表取締役
井藤元希氏



レジャー・ラブホテル分野で豊富な建築・施工の実績を有する(株)K GRIT。昨年、(株)カナガワファニチュアから社名を変更し、新社長に就任した井藤元希氏のもと、レジャー・ラブホテルの建築・施工にさらに邁進している。同社は、小規模修繕から大規模改装・新築まで、高い施工力と迅速な対応力で取り組み、経営者・設計事務所から高く評価されている。

本稿では、施工内容別に同社の取り組み方をレポートする。

<小規模修繕・改装>

専門チームで迅速・的確な施工

レジャー・ラブホテルは、定期的な改装以外にも、破損や汚れに対処する修繕・メンテナンス、設備入替に伴う内装の部分変更など、小規模な修繕・改装も求められる。しかも、これらは24時間365日稼働という業態の特性から、迅速で的確な施工が必要となる。

同社は、こういった小規模な工事にしても、経営者からの評価が高い。同社代表取締役・井藤元希氏は「小規模工事にフレキシブルかつ迅速に対応するため、一昨年から専門チームをつくって対応してきました。これが好評なことから、来年には専門部署を立ち上げ、この取り組み方を強化していきます」という。

部分改装や修繕工事でも、同社は「ホテル経営者の意図を的確に汲み取り最良の提案をする」ことを重視している。例えば、家具等の修繕でも、ダイノックシートの上張りが低コストの手法と思われるが、作り直したほうが低コストというケースもある。使

い勝手の改善や工期も考慮し、経営者とのコミュニケーションのなかで最良の方法を提案していくという。ちなみに、同社は自社工場でのオリジナル家具製造も評価されているが、来年には規模を拡大した新工場を立ち上げ、ホテルの要望にさらに応えていきたいとしている。

<浴室改装>

確実な防水と最良の改装提案

この1、2年、これまで先送りしてきた浴室の改装に取り組むホテルが増えてきている。同社は、水周りの施工における信頼性も高い。「基本中の基本ですが、やはり最重視ポイントは防水です。実際に、外側からはわからない水漏れがある浴室が少なくないのです」(井藤氏)。これは、大きな漏水を起こす危険性に加え、臭いや腐食にもつながっていく。現在、ビジュアルシートの上張りによる表層変更や、各種ユニットバスの採用、さらに在来工法での改装など、さまざまな改装方法があるが、防水処理の現状を把握したうえで最良の改装内容の提案を行なっているのだ。

また、魅力的な露天風呂など訴求力の高い浴室空間を設けるホテルも増えている。煌びやかなラメタイルなどの新素材もコストが下がりデザインパリエーションも増加している。同社は、そういった最新素材の提案も含め、魅力的な浴室空間づくりのサポートとなる施工をしていきたいという。

<外装改装>

集客に直結、プロのデザインが必要

限られた予算での改装では、どうしても客室に予算を集中させる傾向が強い。しかし、外装の変更は、改装を知らしめ新規客の獲得のためにも必要だ。ただ、外装のデザインには、周辺環境を考慮したうえでのアイキャッチ力やアピール力、さらに入りのしやすさなど、さまざまな要素が求められる。「改装後の効果を考え、限られた予算でのファサード周辺の部分改装であっても、プロの設計デザイナーに依頼すべきです」(井藤氏)という。LEDによる外観の照明演出でも、従来のような派手な色変化から、センスの良さを訴える動きのある照明演出に変わってきている。集客につながる先進的なイメージを打ち出すためには、やはりプロのデザイン力が必要といえるだろう。

<大規模改装>

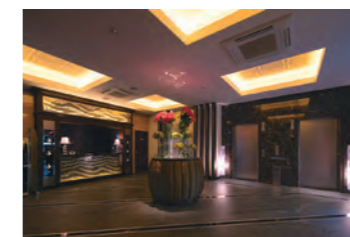
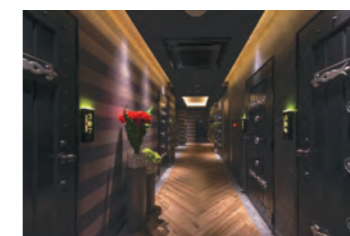
まずは躯体・設備の現状確認を

同社は、大規模改装や新築の受注も多い。建築施工だけでなく、設備工事、電気工事も総合的に一括受注できることも、その背景にある。一括受注は、工程の調整やスムーズな施工進行のうえで、そのメリットは大きい。

また、築年数の経過した旧耐震基準の建物の改装も増えている。旧耐震でも、今後の営業継続に問題のない建物も少なくない。しかし、新築時の施工方法によって躯体の状態は大きく異なる。さらに配管や電気設備の老朽化も進んでいる。「それらを確実にチェックし、現状を把握したうえでの改装内容の決定が必要」(井藤氏)と指摘する。

一方、現在の建築業界でも、人手不足や建材の調達難が続いており、竣工

■(株) K GRIT の建築・施工例



(設計・監理：(株)KOGA設計)



頭文字である「K」は前社名カナガワファニチュアのこれまでの歴史や伝統へ敬意を表している。

「GRIT」にはこれまで引き継がれてきた「やり抜く力」と「G」「R」「I」「T」それぞれの文字に理念を踏襲した想いが込められている。

G	GRID 格子 = 空間	空間造りのプロとして、お客さまにとってよりよい空間を提供しよう。
R	 RIPPLE 波紋 = 輪	義理人情を大切に、仲間、関係会社、お客さんの輪を広げていこう。
I	 IMPROVE 改善・向上	技術と人格の向上を目指して、学び続けられる環境を提供しよう。
T	 TOGETHER 一緒・仲間	仲間とその家族が「働いてよかったな」と思える会社を目指そう。

遅延につながるケースも見られる。同社は、以前から関連業者との信頼関係を重視し協力企業のネットワークを築いてきた。それら協力企業各社との連携により、同社の施工現場では必要な人材の確保と建材の調達滞りが行なわれており、その評価も高い。

また、建築・施工においては、工事の規模に関わらず、現場監督の能力が重要となる。同社は、現在、現場監督ができる社員が18人いるが「今後さらに、人数の増加とそれぞれの能力向上

に力を注ぎます」(井藤氏)という。

同社は、30代の中堅社員が中心になり、一般社員も含めて月1回程度のペースで研修会を実施。新素材の研究や各種設備等の扱い方を学ぶ内容だ。現場監督にとって、この研修会は最新の情報を共有するうえでも有効だという。さらに、最近はマナー研修も実施。「施工主・設計事務所・現場の職人さんたちとの良好なコミュニケーションと人間関係の構築は、スムーズな施工で高品質な仕上がりを実現するために重要で

す」(井藤氏)という。

同社の基本方針は「経営者の方々が本当に求めている施工を追求する」。そのために、常に現場力の強化に取り組む姿勢が、高い信頼性と最新ニーズに応える施工につながっているといえる。

【問合せ】
(株) K GRIT

千葉県船橋市宮本 9-11-1
TEL.047-432-4321
FAX.047-437-4320
http://kgrit.co.jp/